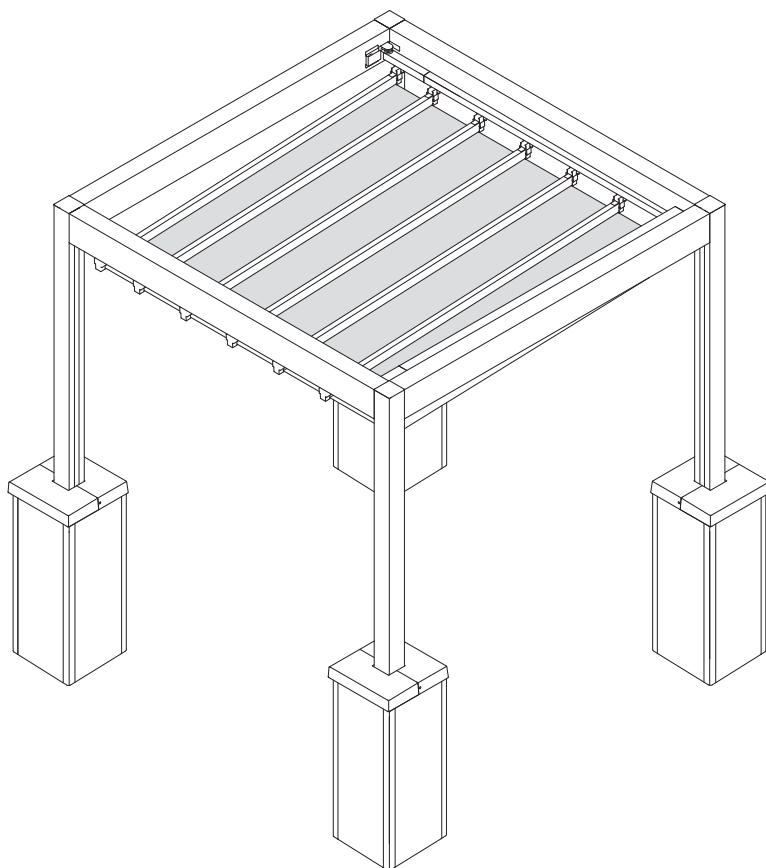


# 独立オーニング ウェイトベース

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### 安全に関する記号と説明

- 警告** : 取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
- 注意** : 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

### 情報に関する記号と説明

- お願い** : 注意点や不具合を防ぐ上で確認して頂きたいこと、推奨される方法などを示します。
- Pポイント** : 説明の内容および部品などに関して知っておくと便利なことや、取付作業中における確認方法などを示します。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>

### 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 本仕様で設置できる床条件は以下の通りです。設置前に必ずご確認ください。
  - ・コンクリート、アスファルト、インターロッキング
  - ※地耐力50kN/m<sup>2</sup>（長期）が確保できていること
- 設置面が水平であることを確認してから施工をお願いします。
- 強風（20m/s以上）が予想される場所への設置は、地面へアンカーボルト（現場手配）での固定をお願いします。
- 液状化のおそれがある場所へは設置しないでください。



### お願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
<推奨トルク> φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）  
φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）  
M6ネジ・ボルト：8.0N・m±0.5N・m（80±5kgf・cm）  
M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造はしないでください。
- ウエイトブロックの積み上げ段数は変更しないでください。



### お願い

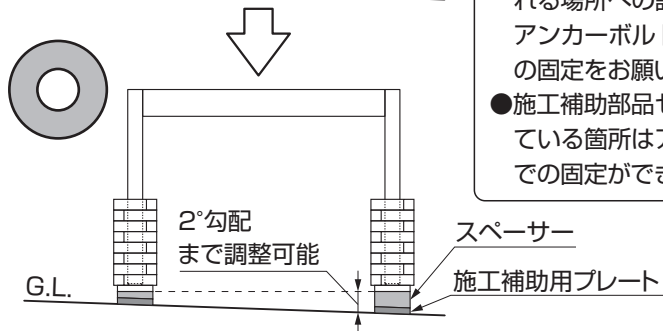
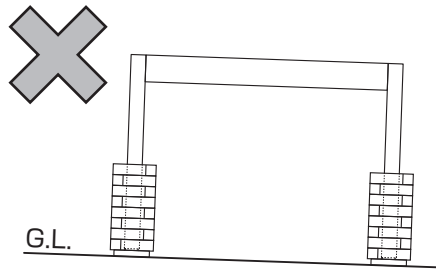
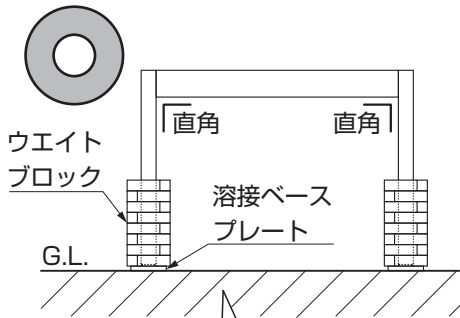
- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。  
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

# INDEX

1	施工時の重要確認事項	4
2	基本寸法と各部の名称	6
1.	各部名称	6
2.	基本寸法	7
3	組立て前の事前準備	8
1.	90角柱の準備	8
2.	フレーム(各種)の準備	9
4	柱、フレームの組立て	10
1.	柱の設置	10
2.	フレームの組立て	14
5	ウエイトベースの施工	15
1.	柱用スペーサーの取付け	15
2.	ウエイトブロックの積み上げ	16
3.	化粧パネルの設置	18
6	照明配線	23
7	ウエイトベースカバーの取付け	24
8	独立オーニング解体方法	25
1.	キャンバス部分の解体	25
2.	ウエイト部の解体	25
3.	フレーム部の解体	26
4.	柱部の解体	27
9	梱包明細表	28

# 1 施工時の重要確認事項

## 1-1 設置面の確認



### ■設置可能な床面

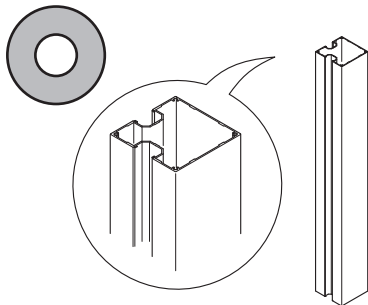
- ・コンクリート
- ・アスファルト
- ・インターロッキング
- ※地耐力50kN/m<sup>2</sup>(長期)が確保できていること

### ⚠ 注意

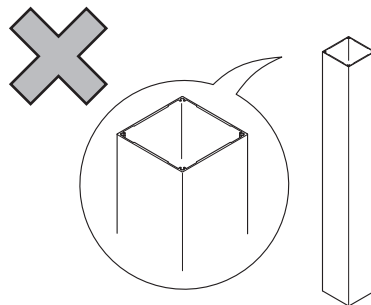
- 設置する床面と、床面が水平であることを必ず確認してください。水平でない場合は施工補助部品セットを使用してレベルを調整してください。
- 強風(20m/s以上)が予想される場所への設置は、地面へアンカーボルト(現場手配)での固定をお願いします。
- 施工補助部品セットを使用している箇所はアンカーボルトでの固定ができません。

## 1-2 使用可能な柱

### ■90角柱(2面溝)



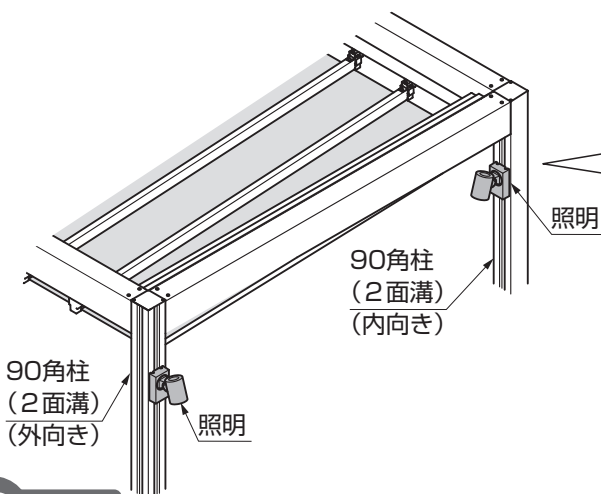
### ■90角柱(溝無し)



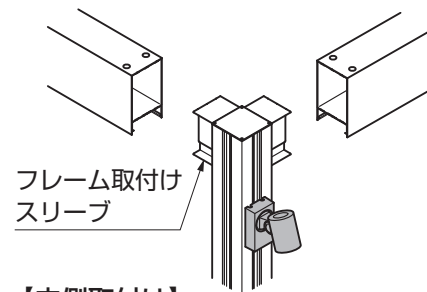
### Pポイント

- ウエイトベースは90角柱(2面溝)のみ使用可能です。柱の種類を必ず確認してください。

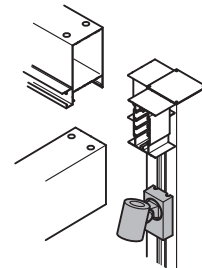
## 1-3 90角柱(2面溝)の使い方



### 【外側取付け】



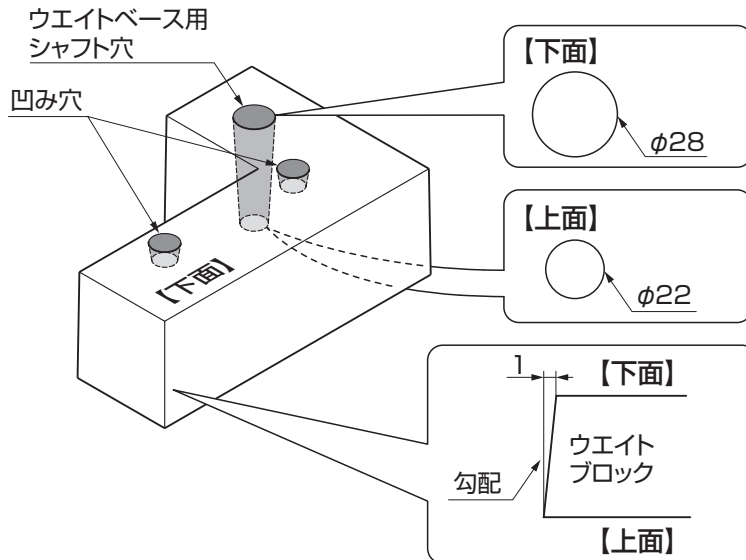
### 【内側取付け】



### Pポイント

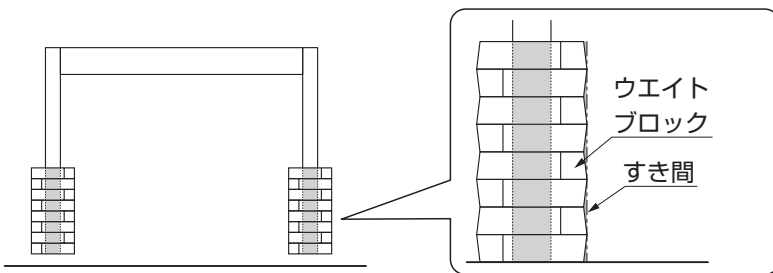
- 90角柱(2面溝)は照明取付けの推奨柱です。照明を内側または外側のどちらかに取付けるかによって組立て方が異なります。

### 1-4 ウェイトブロックの上下確認



#### お願い

●ウェイトブロックには上下があります。ウェイトブロックを積み上げる際は上下を確認しながら積み上げを行なってください。



#### Pポイント

●ウェイトブロックは高さ方向に勾配がついています。ウェイトブロックを建て込む際にすき間ができますが、品質上問題ありません。

### 1-5 ウェイトブロックの積み上げ高さ

#### Pポイント

●ウェイトブロックの積み上げ高さはどの納まり(単体、L連棟、W連棟、田の字連棟等)でもすべて8段積みとなります。

### 1-6 再設置する場合の確認

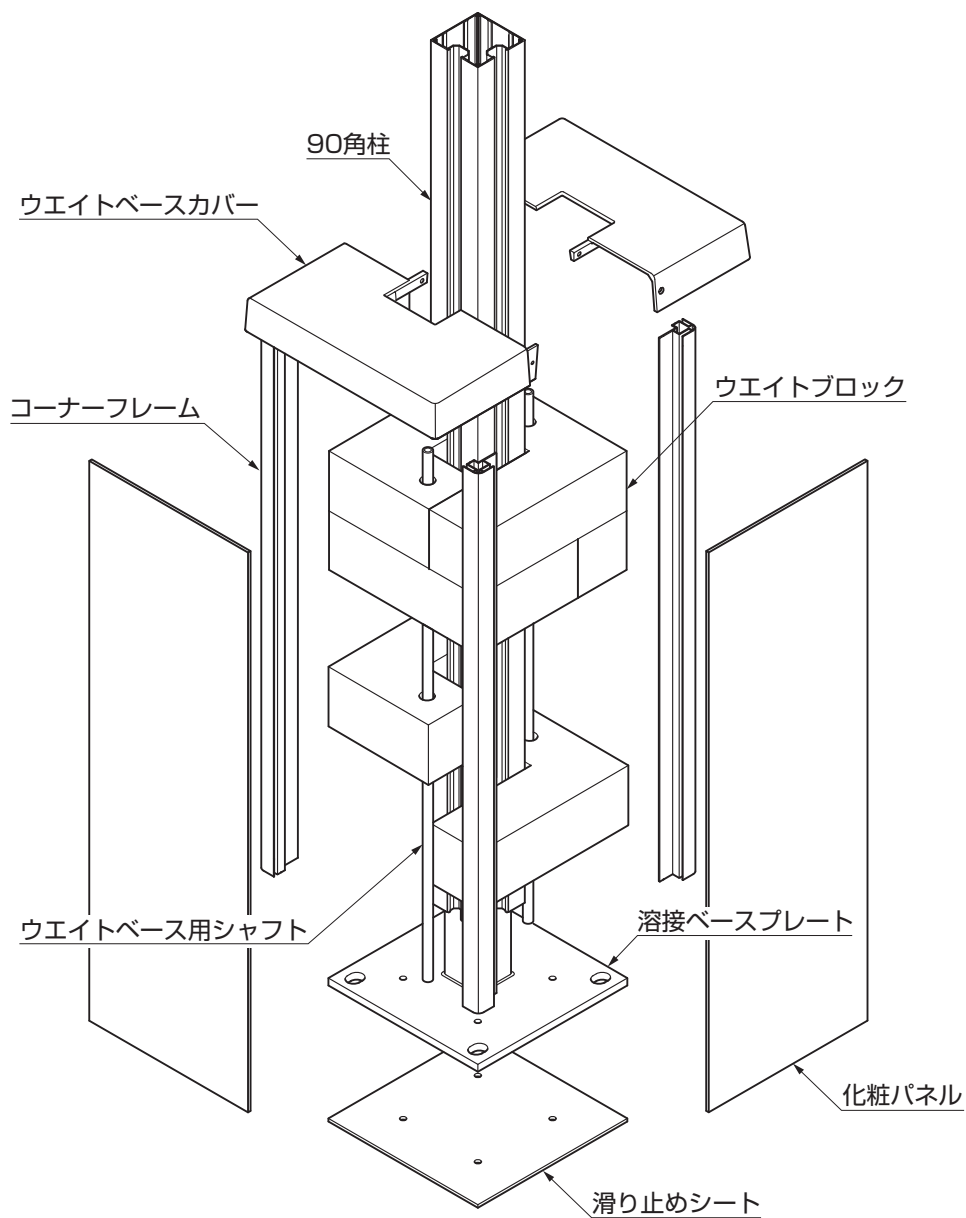
#### Pポイント

●一度解体後、再設置する場合は、以下の項目を事前に確認してください。

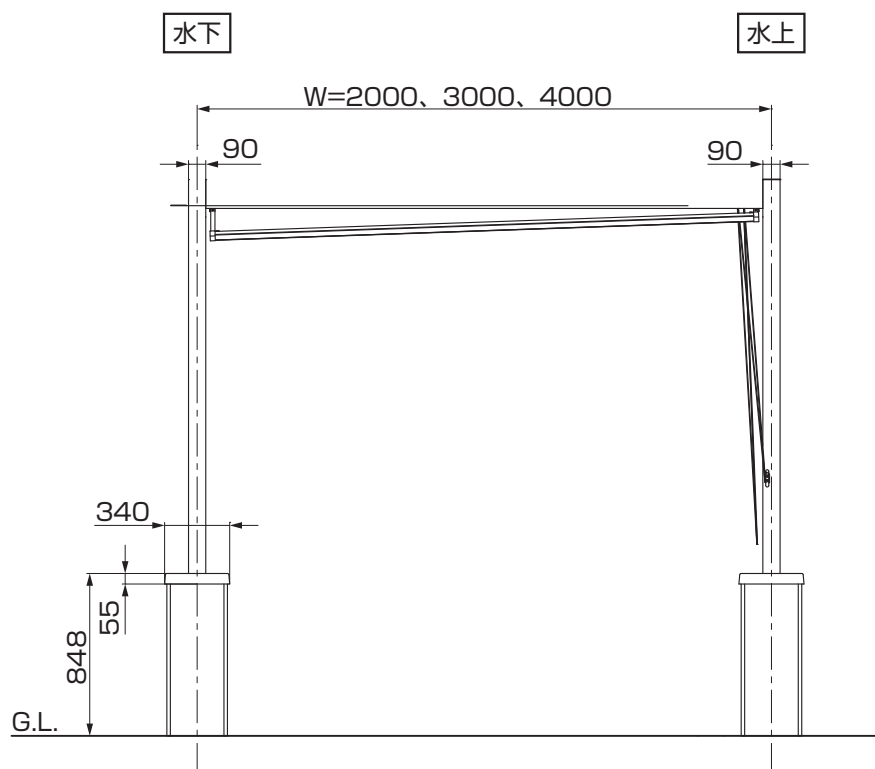
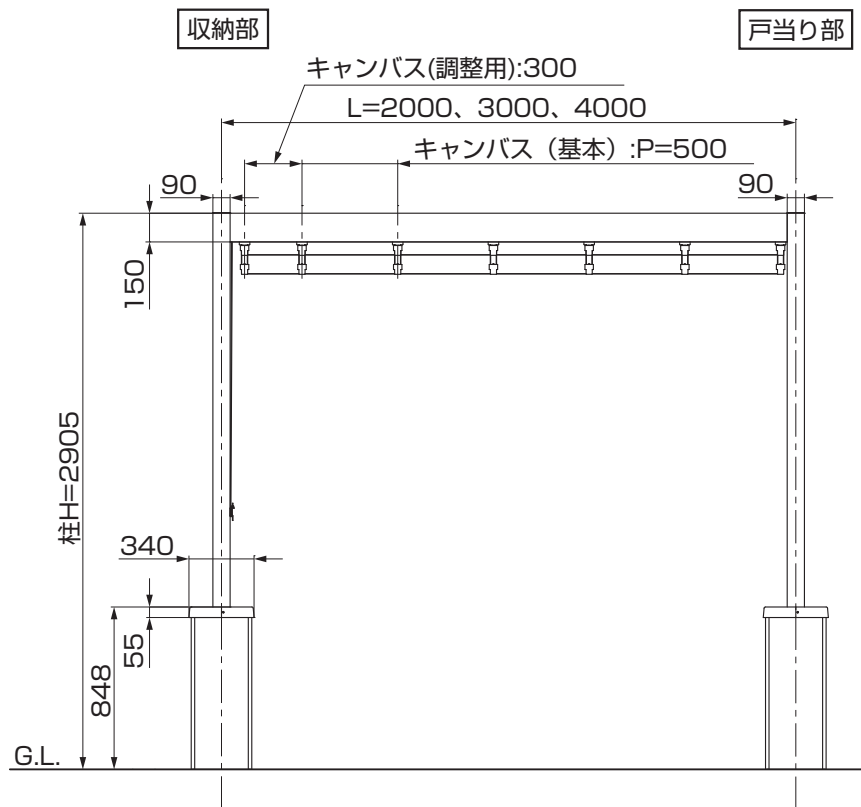
ウェイトブロックに割れ、破損はありませんか？	滑り止めシートが破れていませんか？	柱キャップ、柱-フレーム接続金具のネジのゆるみはありませんか？
<p>ウェイトブロック</p>	<p>滑り止めシート</p> <p>溶接ベースプレート</p>	<p>柱キャップ</p> <p>柱-フレーム接続金具</p>

## 2 基本寸法と各部の名称

### 1. 各部名称



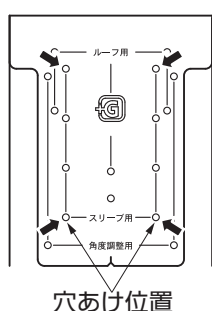
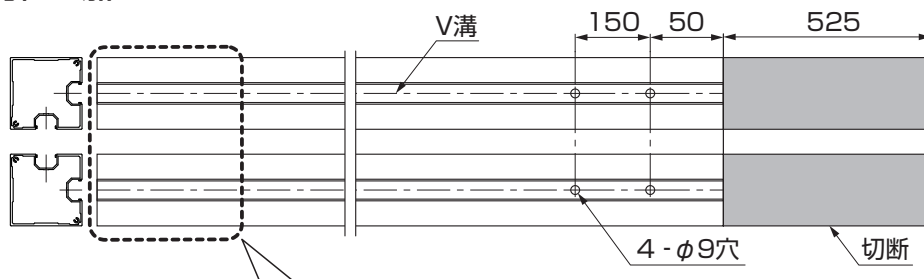
## 2. 基本寸法



### 3 組立て前の事前準備

#### 1. 90角柱の準備

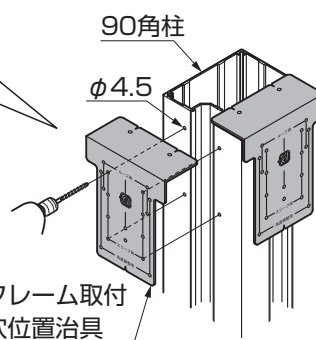
##### 1-1 90角柱の加工



**P**ポイント

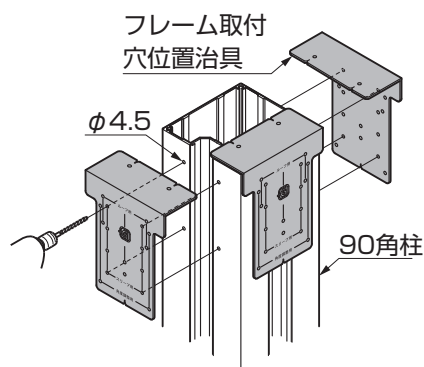
- 90角柱とフレーム取付穴位置治具の端部を合わせてください。

【単体の場合】



- フレーム取付穴位置治具は本体の部品箱セットに同梱

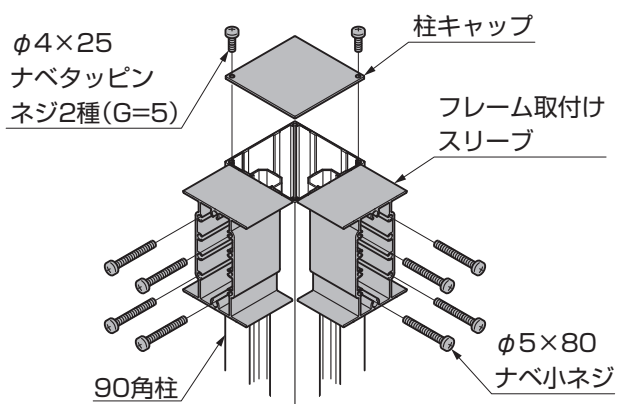
【連棟の場合】



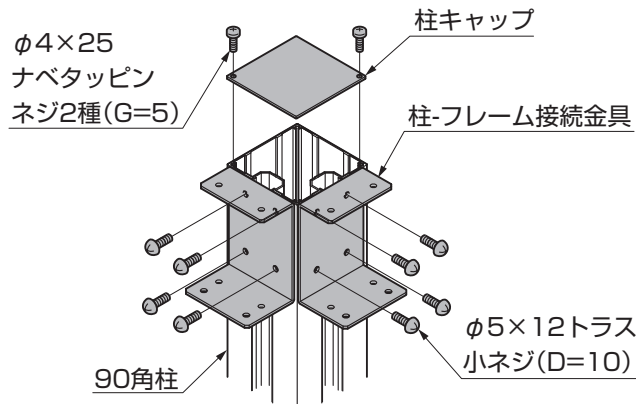
- ①90角柱を525mm切断してください。
- ②90角柱を加工してください。
- ③90角柱にフレーム取付穴治具を使ってφ4.5穴をあけてください。

##### 1-2 フレーム取付けスリーブ、柱-フレーム接続金具、柱キャップの取付け

【フレーム取付けスリーブの場合】



【柱-フレーム接続金具の場合】



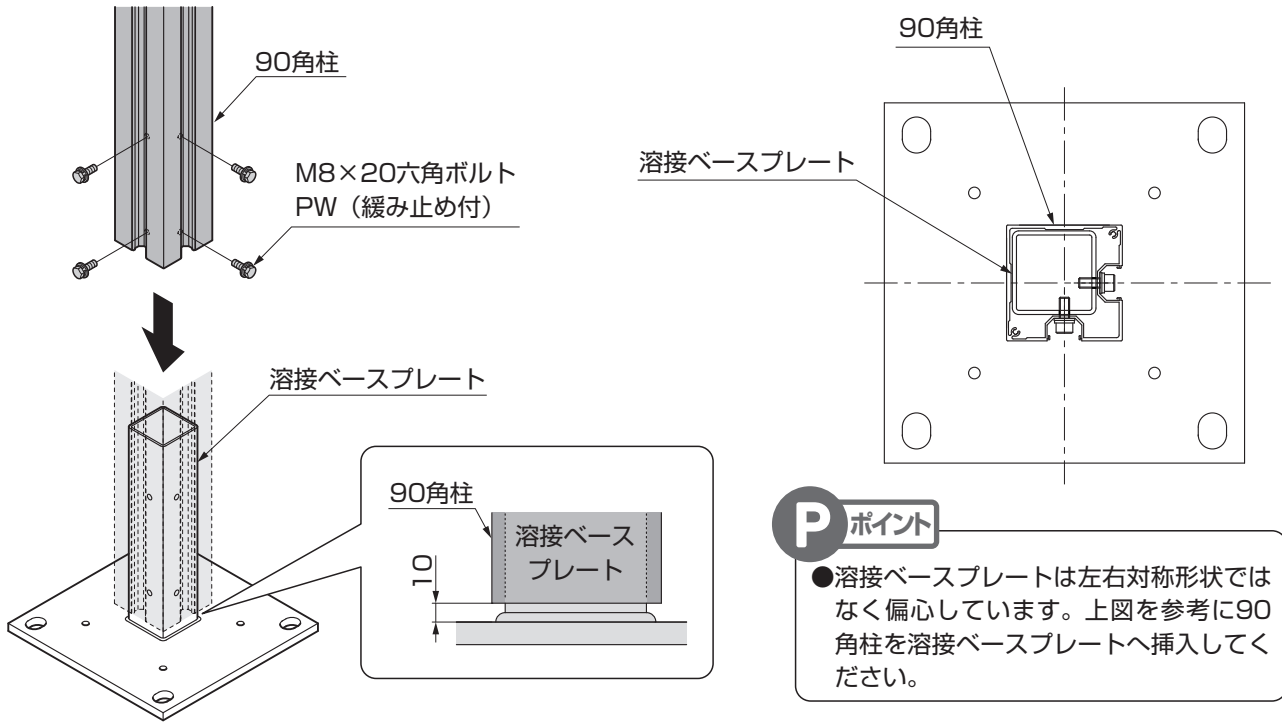
- ①フレーム取付けスリーブまたは柱-フレーム接続金具を【ネジ】で90角柱に取付けてください。
- ②柱キャップを【ネジ】で取付けてください。

**P**ポイント

- 部品には上下があります。部品を取付ける前に、部品の上下を確認してください。



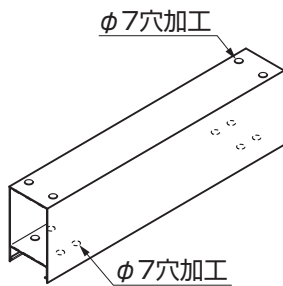
### 1-3 溶接ベースプレートの取付け



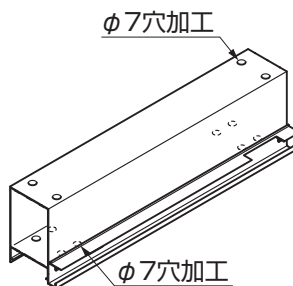
①溶接ベースプレートを90角柱に【ネジ】で取付けてください。

## 2. フレーム(各種)の準備 ※柱-フレーム接続金具使用の場合の作業です。

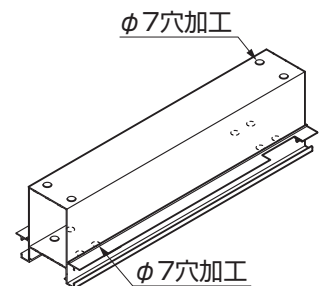
(1)フレーム



(2)フレーム(片面レール型)



(3)フレーム(両面レール型)

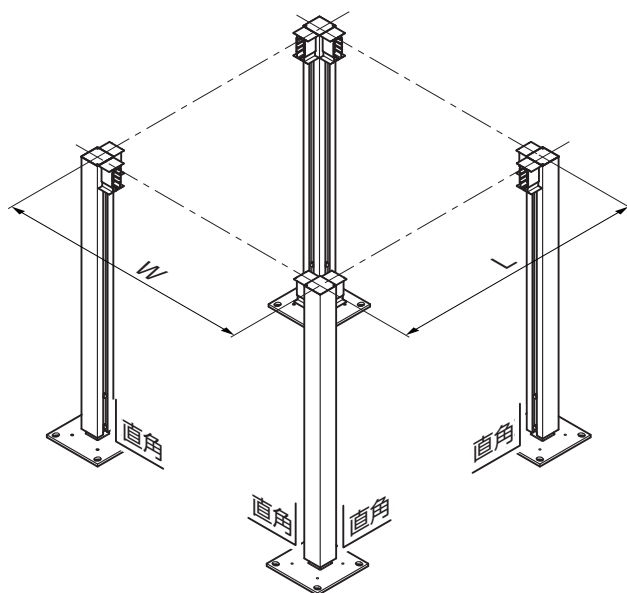


①フレーム(各種)の両端にあるφ5.5の穴(12箇所)を、φ7の穴に加工してください。

## 4 柱、フレームの組立て

### 1. 柱の設置

#### 1-1 柱の位置出し、垂直の確認



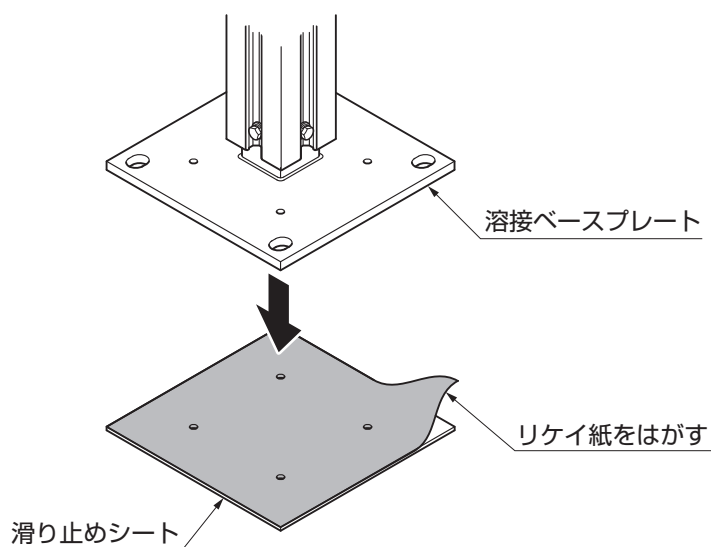
- ①柱を建てる位置を確認してください。
- ②柱が垂直に建っていることを確認してください。



#### お願い

- 柱が垂直に建っていない場合は、「1-3 施工補助部品セットでのレベル調整(P.11)」を参照して、柱の垂直を調整してください。

#### 1-2 滑り止めシートの取付け ※施工補助部品セットを使用しない場合の作業です。



- ①滑り止めシートのリケイ紙をはがします。
- ②滑り止めシートを溶接ベースプレートに取付けます。

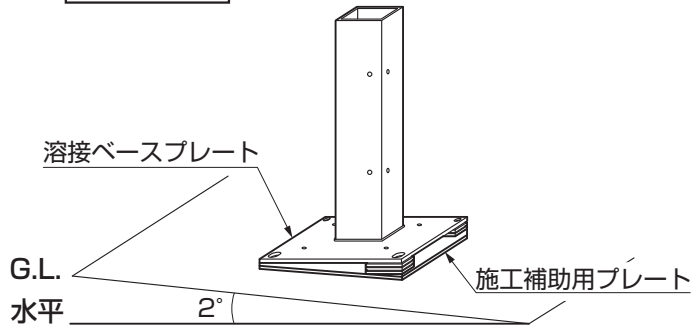


#### お願い

- 施工補助部品セットを使用する場合は、滑り止めシートを施工補助用プレートに取付けます。「1-3 施工補助部品セットでのレベル調整(P.11)」を参照して取付けてください。

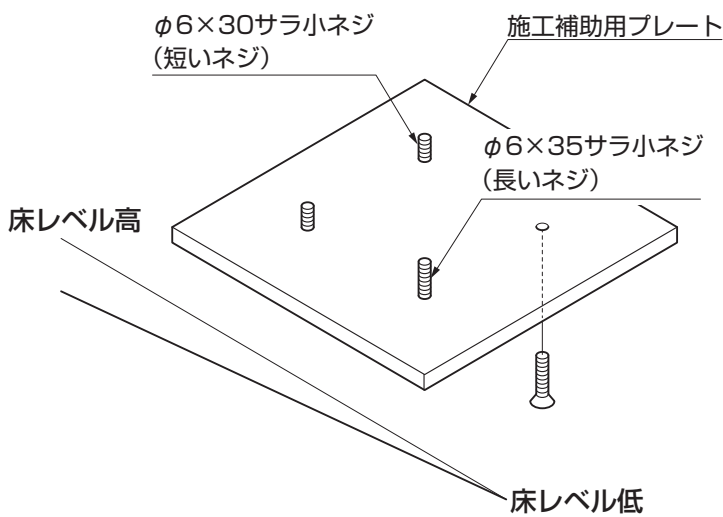
1-3 施工補助部品セットでのレベル調整 ※施工補助部品セットを使用する場合の作業です。

使用イメージ



**P**ポイント

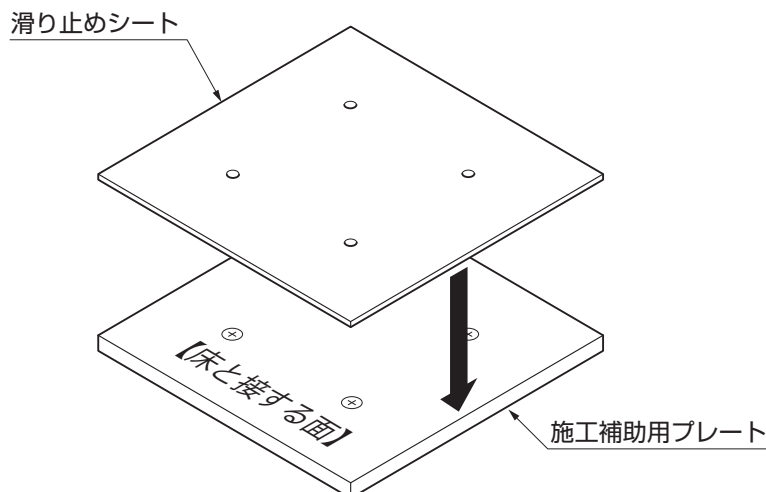
- 施工補助部品セットは2° までの傾斜角度に対応可能です。



- ①施工補助用プレートの床レベルが高い位置にφ6×30の【ネジ】を差込んでください。
- ②施工補助用プレートの床レベルが低い位置にφ6×35の【ネジ】を差込んでください。

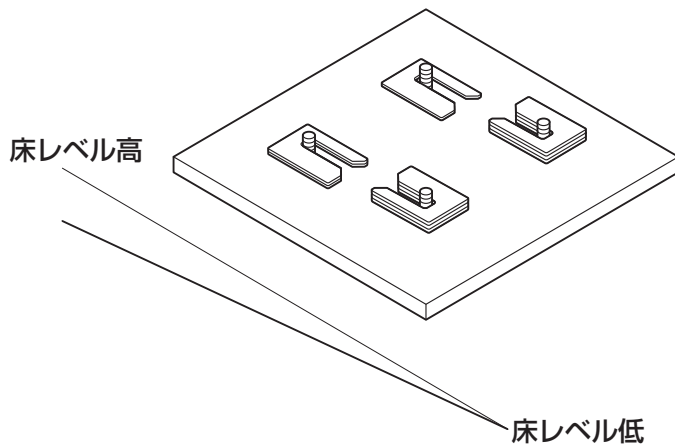
**P**ポイント

- 施工補助プレートには表裏があります。床と接する面の穴加工部分には、サラ加工があります。



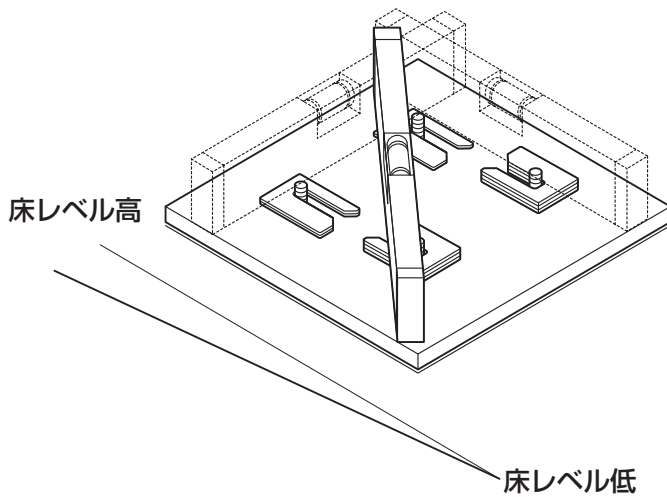
- ③滑り止めシートを施工補助用プレートに貼り付けてください。

【床レベルが一番高い箇所】

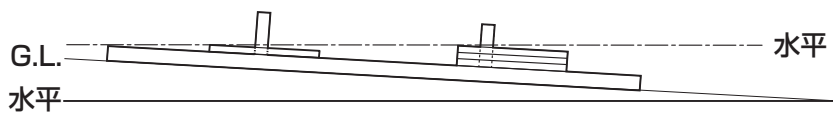


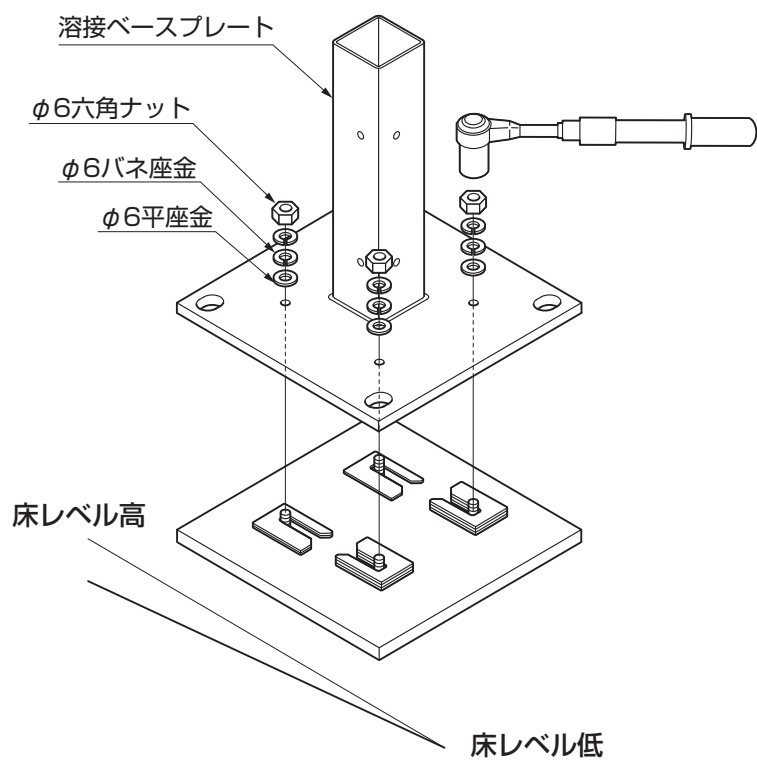
- ④施工補助用プレートを床へ設置して、  
スペーサーを仮配置してください。

【床レベルが一番高い箇所】



- ⑤床レベルが一番高い箇所から水準器を  
使用して水平確認を行なってください。



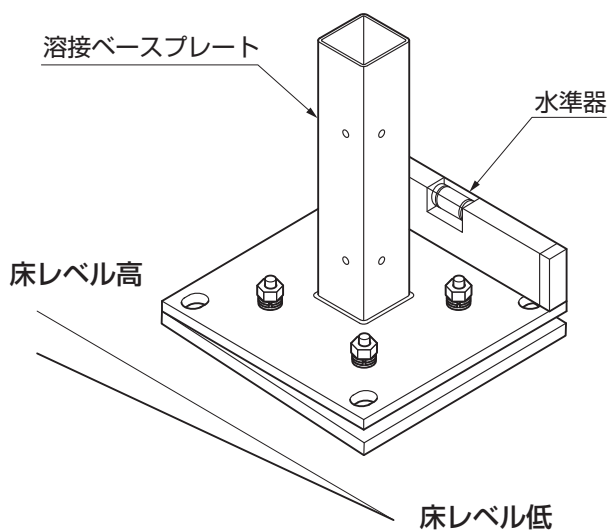


⑥溶接ベースプレートを【ネジ】に差し込み、【ナット】と【座金】で固定してください。



**お願い**

●【ナット】の固定は手回しで行ってください。

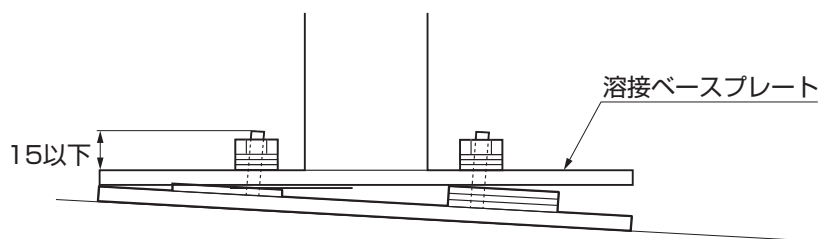


⑦溶接ベースプレートが水平になっている事を確認してください。



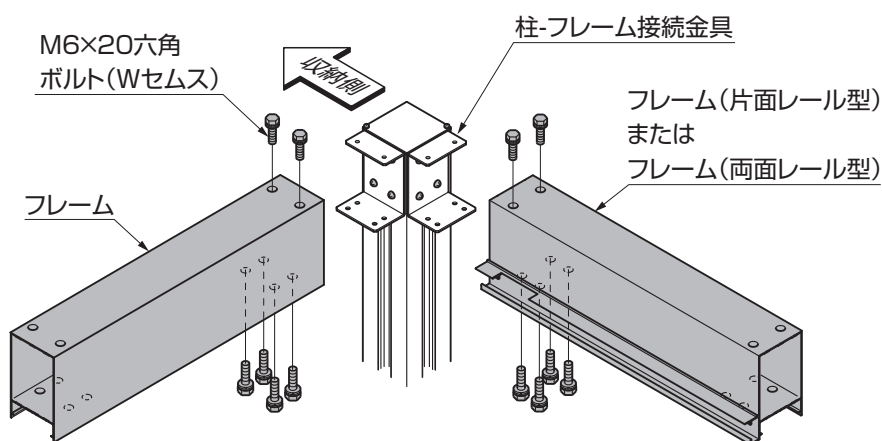
**Pポイント**

●溶接ベースプレートからネジ先端の飛び出しが15mm以下であることを確認してください。



## 2. フレームの組立て

### 2-1 フレームの取付け

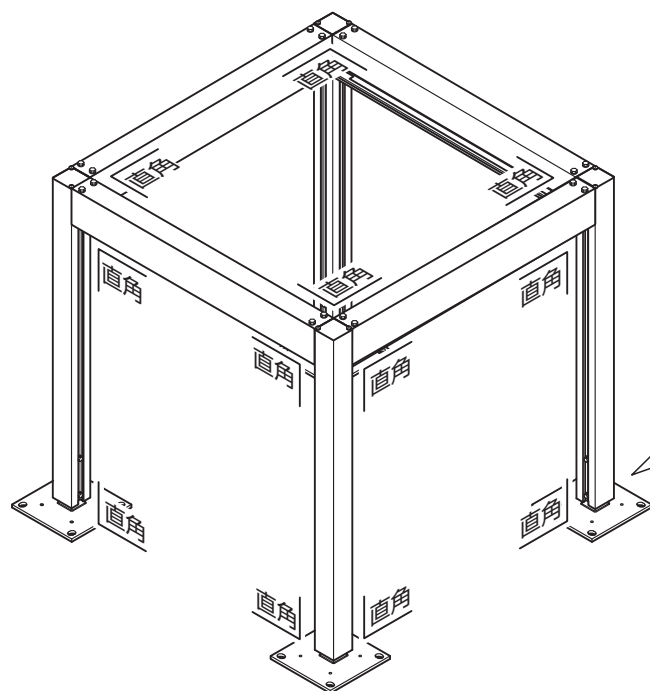


- ① フレームを柱-フレーム接続金具に差込んでください。
- ② フレームを柱-フレーム接続金具に【ボルト】で取付けてください。

### P ポイント

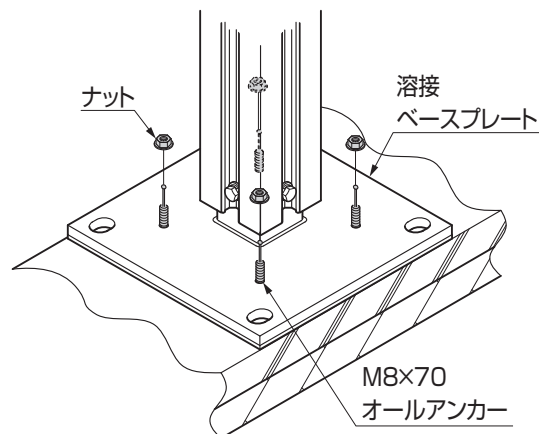
- 左図は柱-フレーム接続金具を使用する場合のものです。フレーム取付けスリーブを使用する場合は、「独立オーニング 取付説明書(E449)」を参照してください。
- フレーム小口面が露出しないよう、90角柱に押し付けながら固定してください。
- フレーム(片面レール型)またはフレーム(両面レール型)の場合は、フレームの切欠き側を収納側に付けてください。

### 2-2 柱の垂直、フレームの直角確認



- ① 柱およびフレームの垂直、フレームの直角を確認してください。

### ⚠ 注意

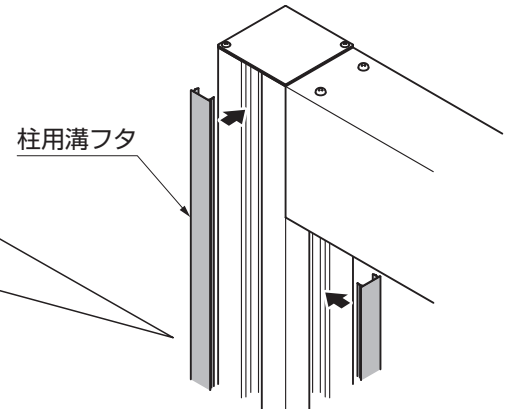
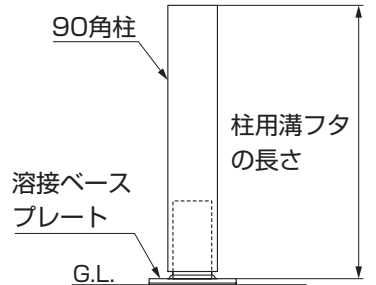


- 強風(20m/s以上)が予想される場所への設置は、地面へアンカーボルト(現場手配)での固定をお願いします。
- 施工補助部品セットを使用している箇所はアンカーボルトでの固定ができません。

## 2-3 柱用溝フタの取付け ※照明を取付けない場合の作業です。

### Pポイント

- 柱用溝フタは、90角柱の上部から溶接ベースプレートの天面までの長さを測って切断してください。

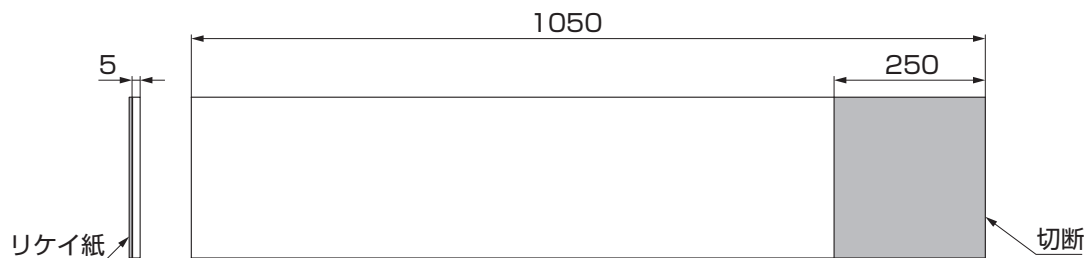


- ①柱用溝フタを90角柱の溝にはめ込んでください。

## 5 ウェイトベースの施工

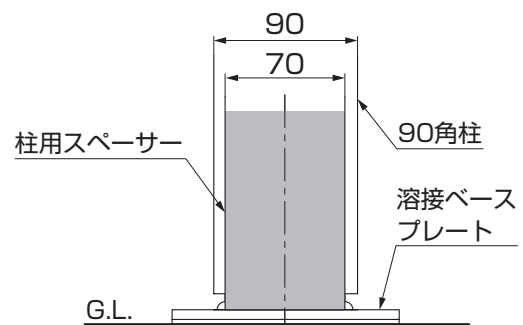
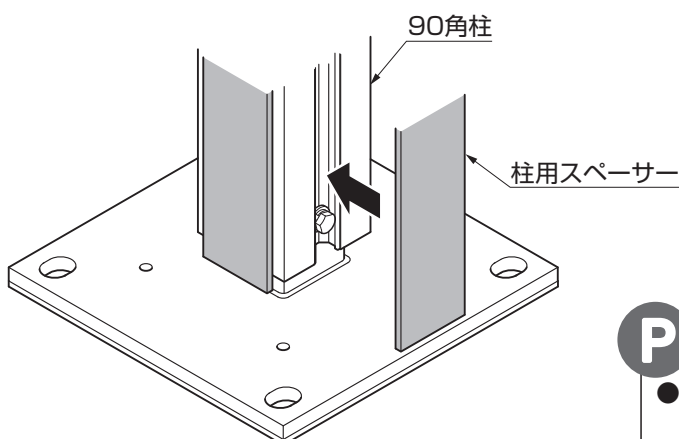
### 1. 柱用スペーサーの取付け

#### 1-1 柱用スペーサーの加工



- ①すべての柱用スペーサーを250mm切断してください。

#### 1-2 柱用スペーサーの貼付け



### Pポイント

- 柱用スペーサーは、90角柱の下面ではなく溶接ベースプレートの天面に合わせて貼付けてください。

- ①柱用スペーサーを90角柱の4面すべてに貼付けてください。

## 2. ウェイトブロックの積み上げ

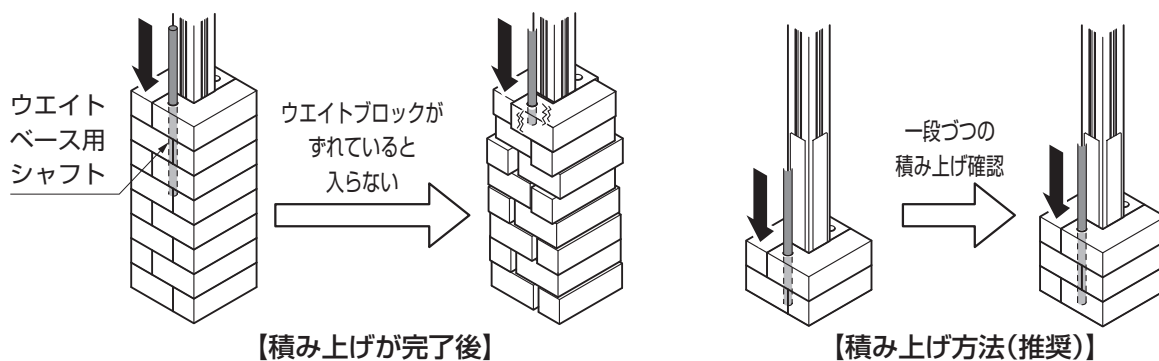
### 2-1 積み上げ方法(推奨)

#### ⚠ 注意

- ウェイトブロックの角は鋭利になっていることがありますので、取扱う際には手袋等の保護具を着用してください。

#### P ポイント

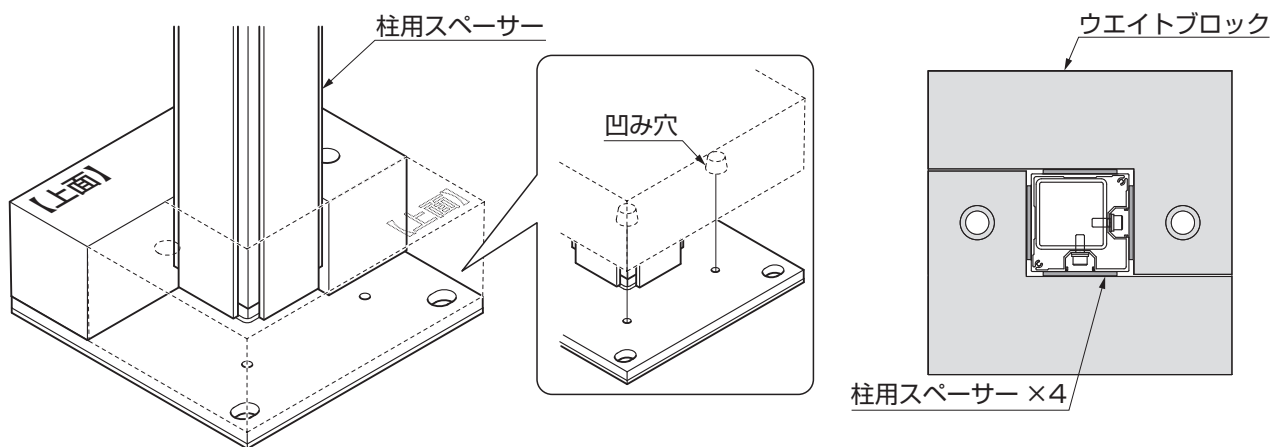
- ウェイトブロックは全ての積み上げが完了した後に横ズレを防止するため、ウェイトベース用シャフトを通します。ウェイトブロックがずれている場合、積み上げ完了時にウェイトベース用シャフトを通すことができません。  
一段づつ積み上げた後にウェイトベース用シャフトが通ることを確認すると施工が簡単にできます。



### 2-2 一段目の積み上げ

#### P ポイント

- 柱用スペーサーに押し付けながら、設置してください。



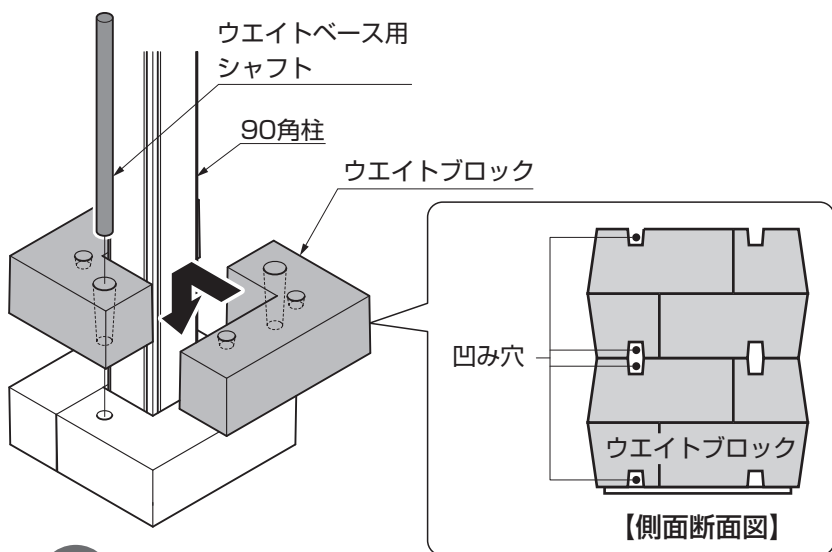
- ①一段目のウェイトブロックを設置してください。

#### 🧑 お願い

- ウェイトブロックの下面を溶接ベースプレートにのせて設置してください。
- ウェイトブロックを柱用スペーサーへ押し当てながら、設置してください。



### 2-3 2段目以降の積み上げ



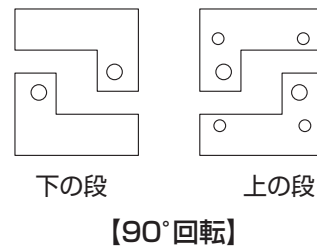
①二段目以降のウエイトブロックを設置してください。

#### ⚠ 注意

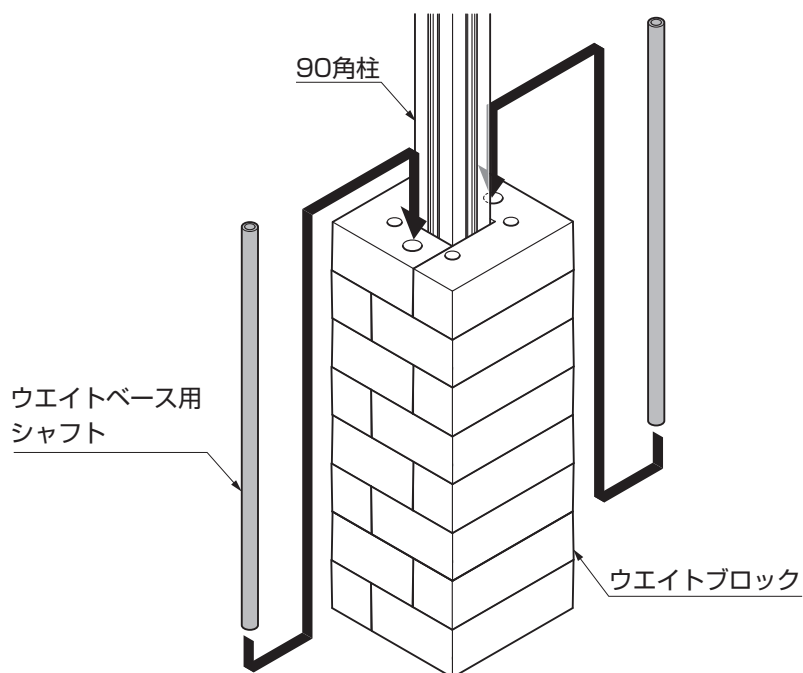
●積み上げる際にウエイトブロックが崩れないように注意してください。施工途中で崩れてしまうとケガをするおそれがあります。

#### P ポイント

- ウエイトブロックは下の段に対して
  - ・上下反対
  - ・90°回転
 させて設置してください。
- ウエイトブロック同士にズレが発生しないようにスペーサーに押し当て、ウエイトベースシャフトが穴に通るか確認しながら、積み上げてください。
- 積み上げの際に90角柱にキズがつかないようにしてください。



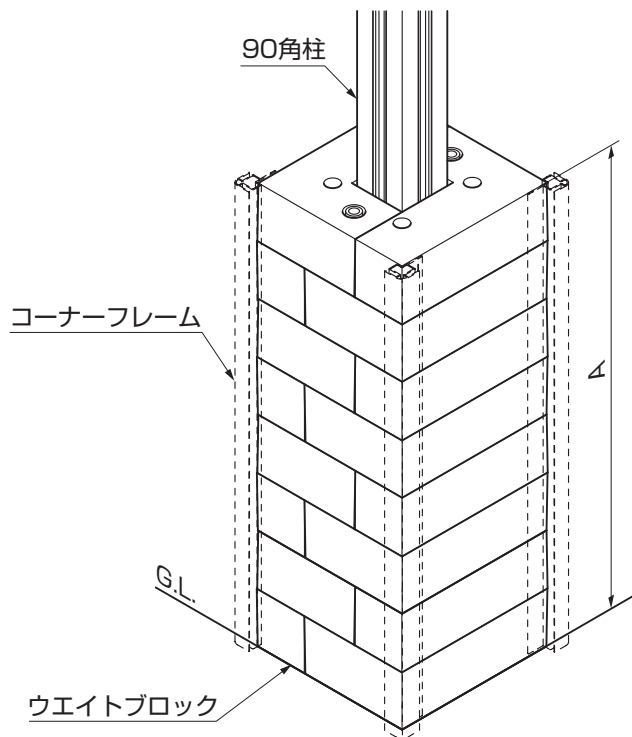
### 2-4 ウエイトベース用シャフトの差し込み



①ウエイトベース用シャフトをウエイトブロックに差し込んでください。

### 3. 化粧パネルの設置

#### 3-1 コーナーフレームの切断長確認

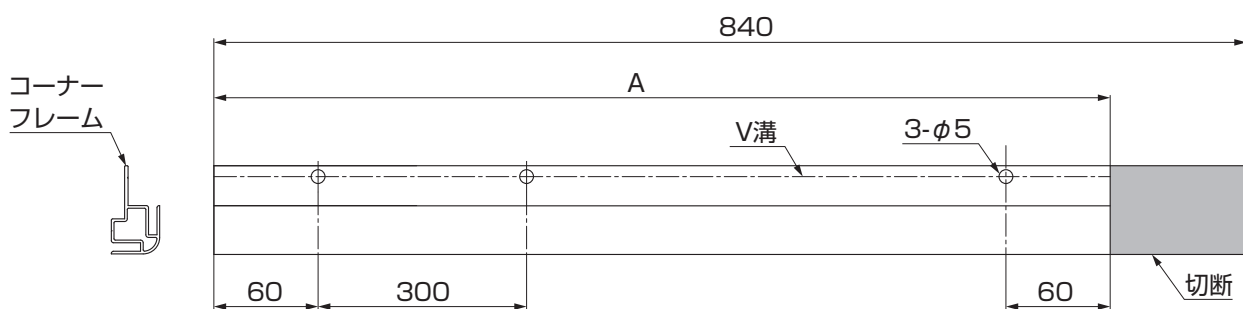


#### P ポイント

- コーナーフレームはG.L.からウエイトブロック天面まで取付きます。  
1箇所ごとに切断長Aを確認してください。

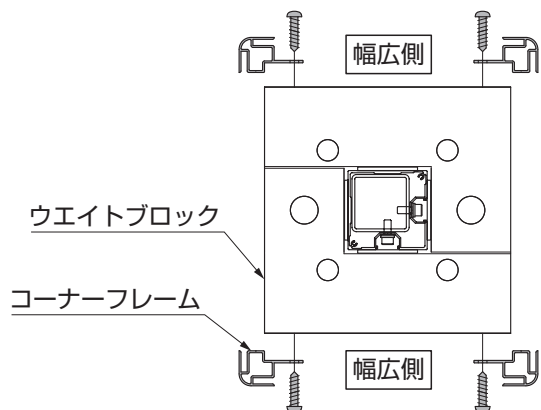
① G.L.からウエイトブロック天面の寸法を測り、切断長Aを確認してください。

#### 3-2 コーナーフレームの加工



① コーナーフレームを加工してください。

### 3-3 コーナーフレーム取付け位置の確認

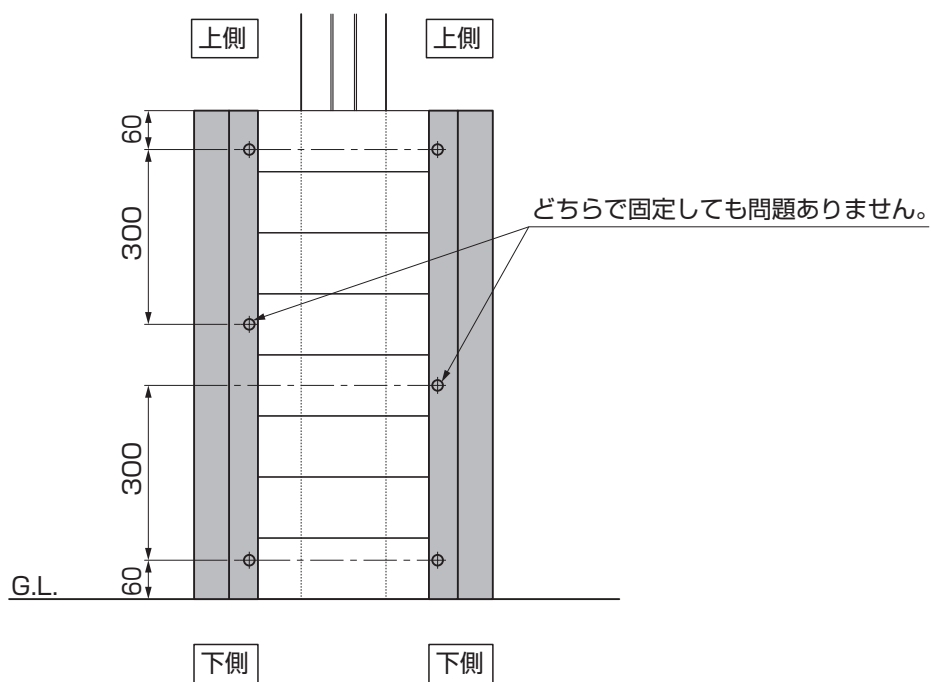


①コーナーフレームの取付ける向きを確認してください。

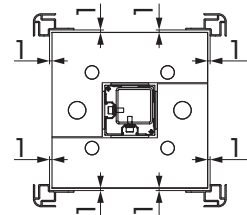
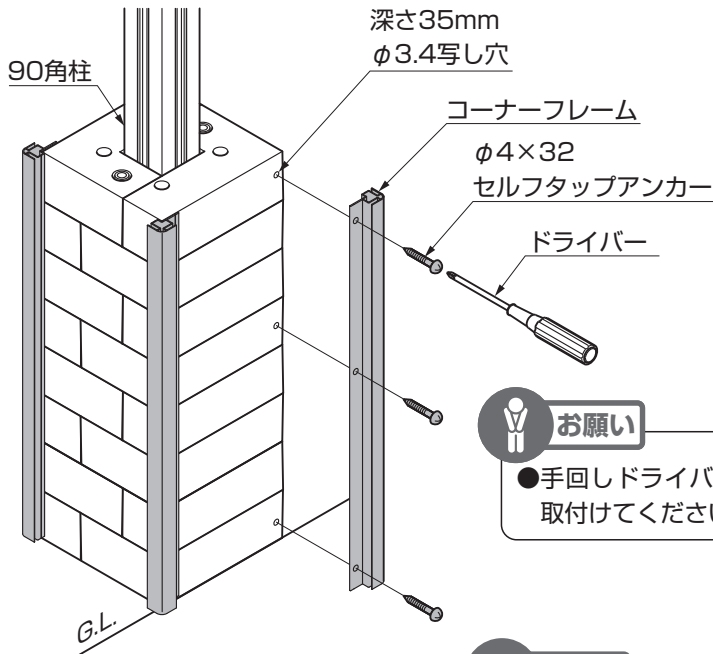


**お願い**

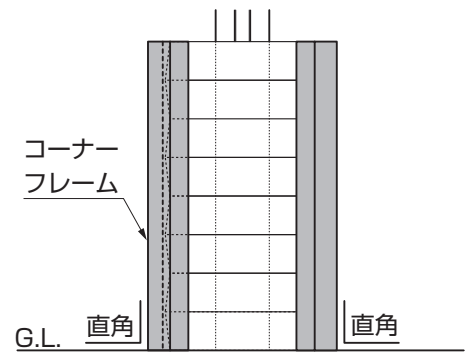
●コーナーフレームはウエイトブロックの幅が広い面に取付けます。



### 3-4 コーナーフレームの取付け



【上面図】



【側面図】

**お願い**  
●手回しドライバーで取付けてください。

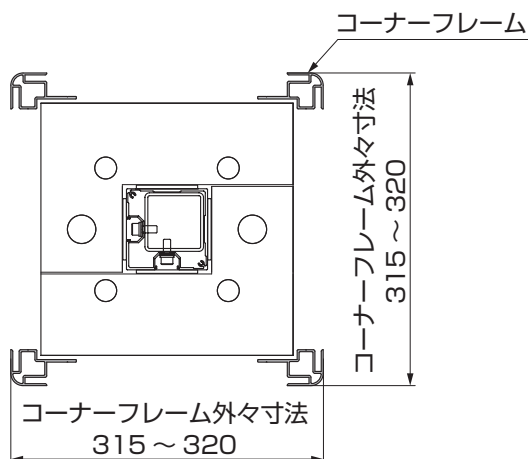
**P** **ポイント**

- ウエイトベースの製質上、勾配がつくため、上からみると1mm程度のすき間が見えますが、問題ありません。
- コーナーフレームは必ず垂直に取り付けてください。
- $\phi 3.4 \times 35$ の下穴は、ウエイトブロックに対して真っすぐに開けてください。真っすぐの開けない場合は、ウエイトブロックが割れてしまう可能性があります。

**お願い**  
●コーナーフレームはG.L.に突き当てて固定してください。

- ①コーナーフレームをG.L.に突き当てて、ウエイトブロックに当ててください。
- ②ウエイトブロックにコーナーフレームの写し穴で $\phi 3.4 \times 35$ の下穴をコンクリートドリルであけてください。
- ③コーナーフレームをウエイトブロックに【アンカー】で固定してください。

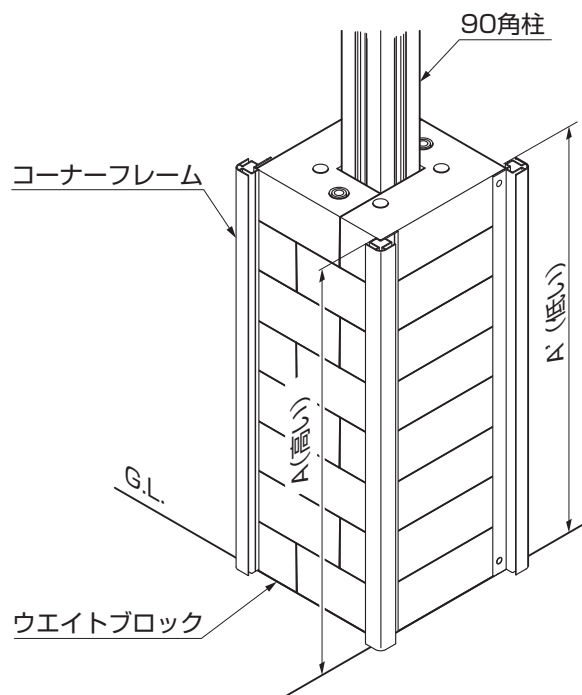
### 3-5 コーナーフレームの納まり寸法確認



**お願い**  
●315mm ~ 320mmの範囲外の場合化粧パネルが取付かなくなります。

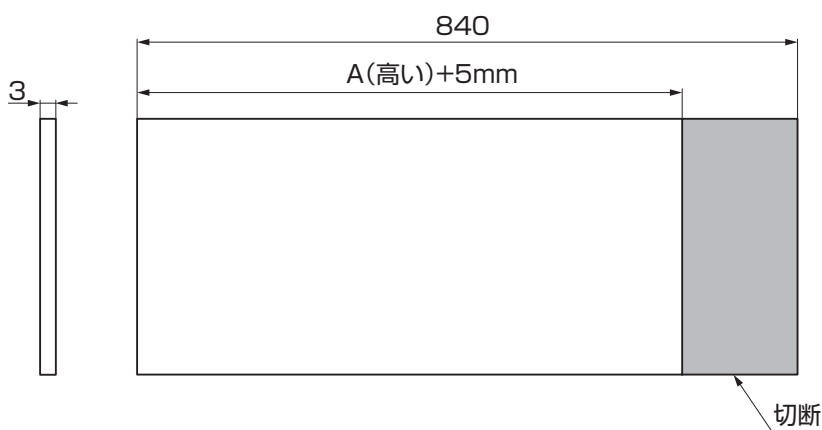
- ①コーナーフレーム外々寸法が315mm ~ 320mmの範囲であることを確認してください。

### 3-6 化粧パネルの切断長確認



①コーナーフレームの長さを測り、切断長A(高い)およびA'(低い)を確認してください。

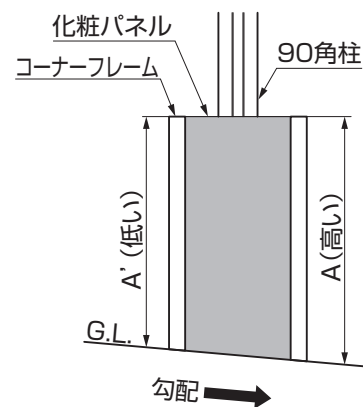
### 3-7 化粧パネルの加工



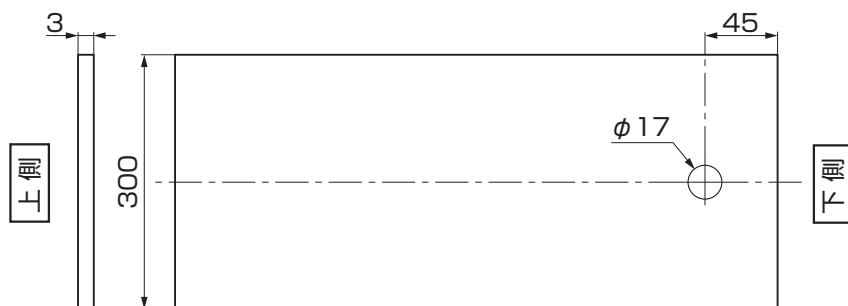
①化粧パネルをA(高い)寸法に合わせて加工してください。

#### P ポイント

●施工補助部品セットを使用し、床面に勾配がある場合はA寸法およびA'寸法に合わせて斜めに切断してください。



### 3-8 化粧パネルの加工 ※照明を取付ける場合の作業です。

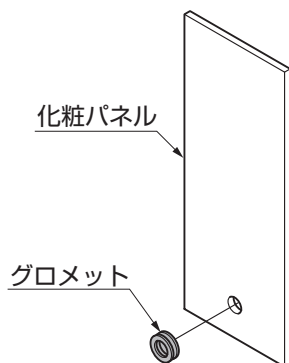


①化粧パネルに $\phi 17$ の穴をあけてください。

#### Pポイント

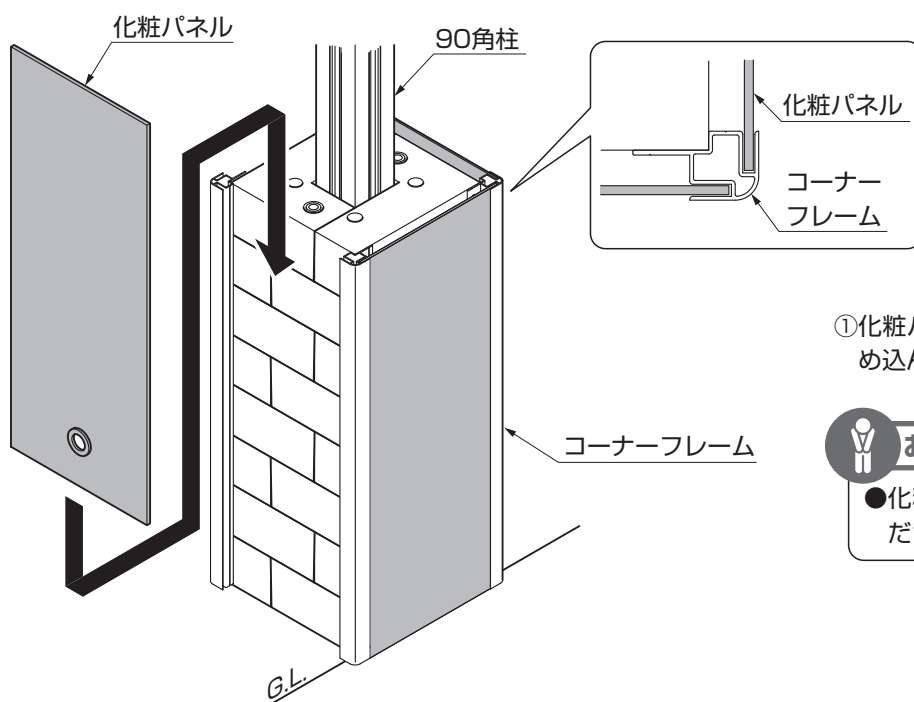
- 穴あけ前に養生シートは剥がしてください。
- 穴あけ後は、化粧パネルの表面または裏面のバリを取ってください。

### 3-9 グロメットの取付け ※照明を取付ける場合の作業です。



①化粧パネルにグロメットを取付けてください。

### 3-10 化粧パネルのはめ込み



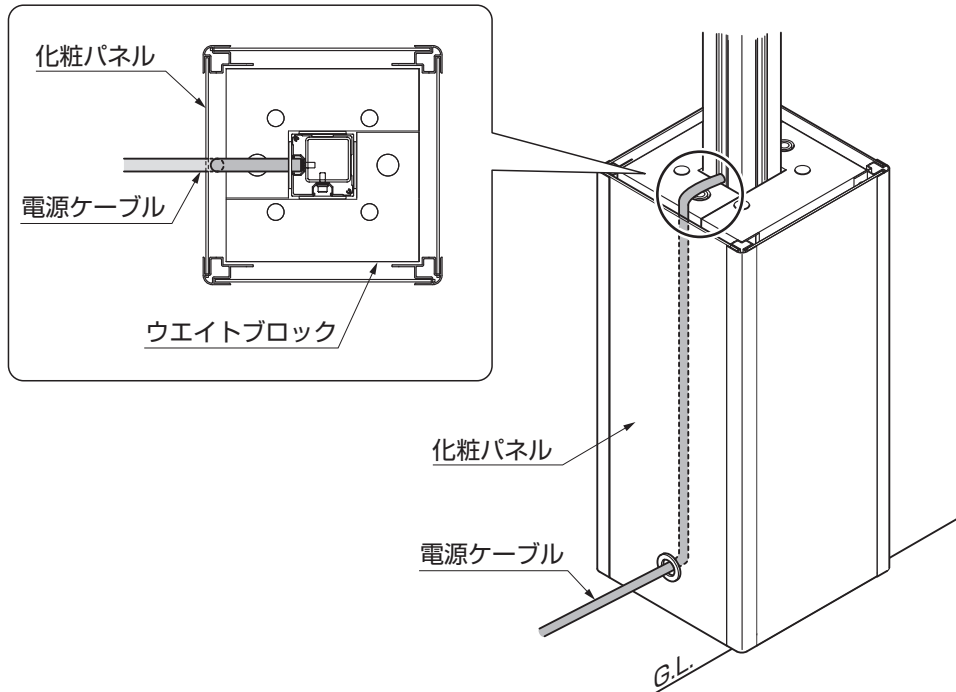
①化粧パネルをコーナーフレーム間にはめ込んでください。

#### お願い

- 化粧パネルはG.L.に突き当ててください。

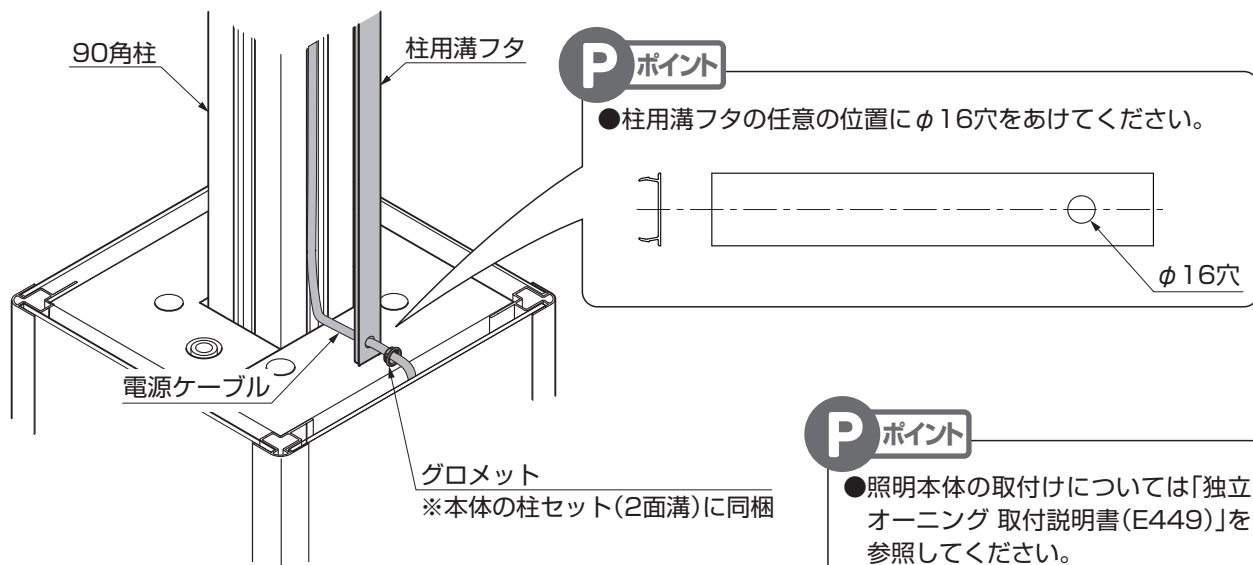
## 6 照明配線

### 1-1 配線作業



①電源ケーブルを化粧パネルとウエイトブロックの間に配線してください。

### 1-2 柱用溝フタの取付け

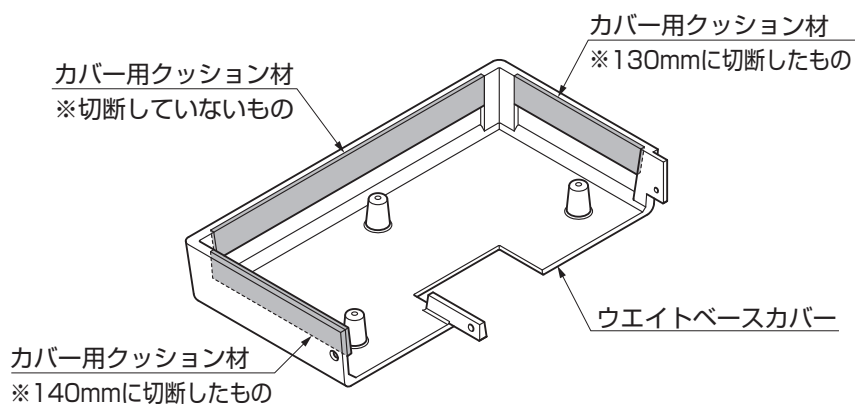


①グロメットを柱用溝フタに取付けてください。

②柱用溝フタを90角柱に取付けてください。

## 7 ウェイトベースカバーの取付け

### 1-1 カバー用クッション材の貼付け

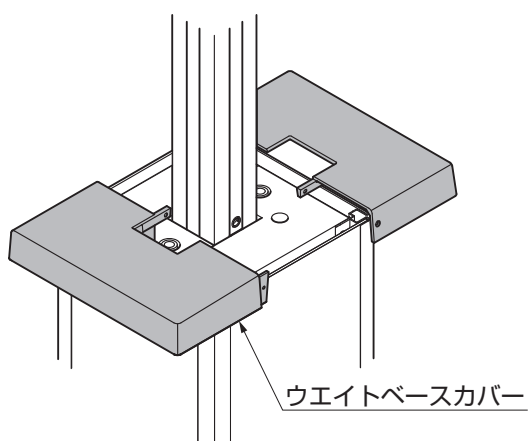


①カバー用クッション材2本を切断して、140mmと130mmのカバー用クッション材を2本ずつ作成します。

②カバー用クッション材のリケイ紙をはがします。

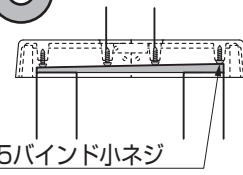
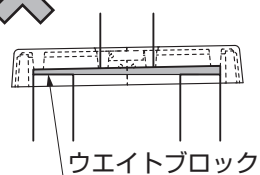
③左図を参考に、カバー用クッション材を両方のウェイトベースカバーに貼付けます。

### 1-2 ウェイトベースカバーの水平調整

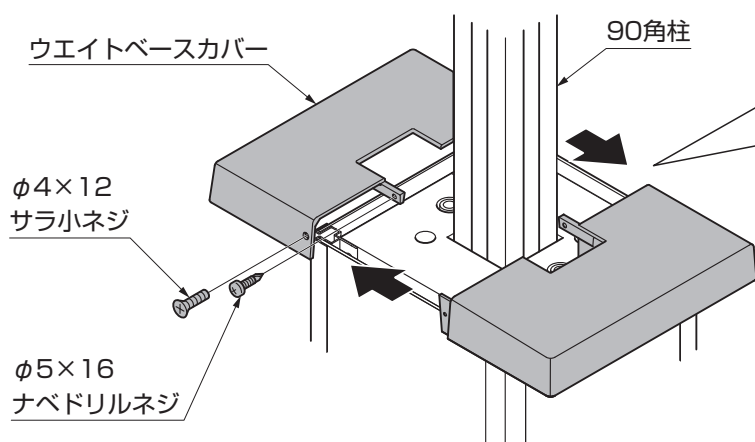


#### Pポイント

●ウェイトブロックの天面の高さが不揃いになっている場合は、ウェイトベースカバーの裏側にあるネジを緩めて、高さを調整してください。

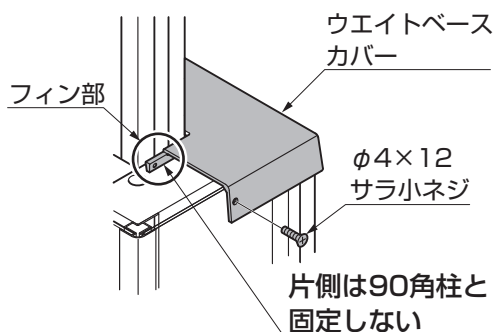


### 1-3 ウェイトベースカバーの固定



#### Pポイント

- 90角柱との固定は、片側のみです。
- 固定時は90角柱へウェイトベースカバーを突き当ててください。
- 照明配線がある場合は、配線にフィン部が当たらない方向から固定してください。



①ウェイトベースカバーの片側のみを90角柱に【ネジ】で固定してください。

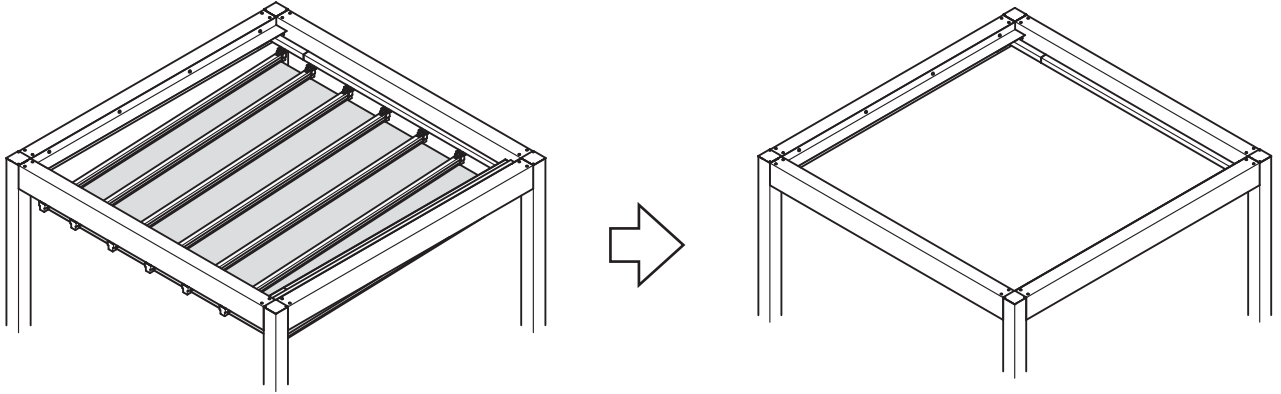
②ウェイトベースカバーを図の向きで組んで【ネジ】でカバー同士を固定してください。



## 8 独立オーニング解体方法

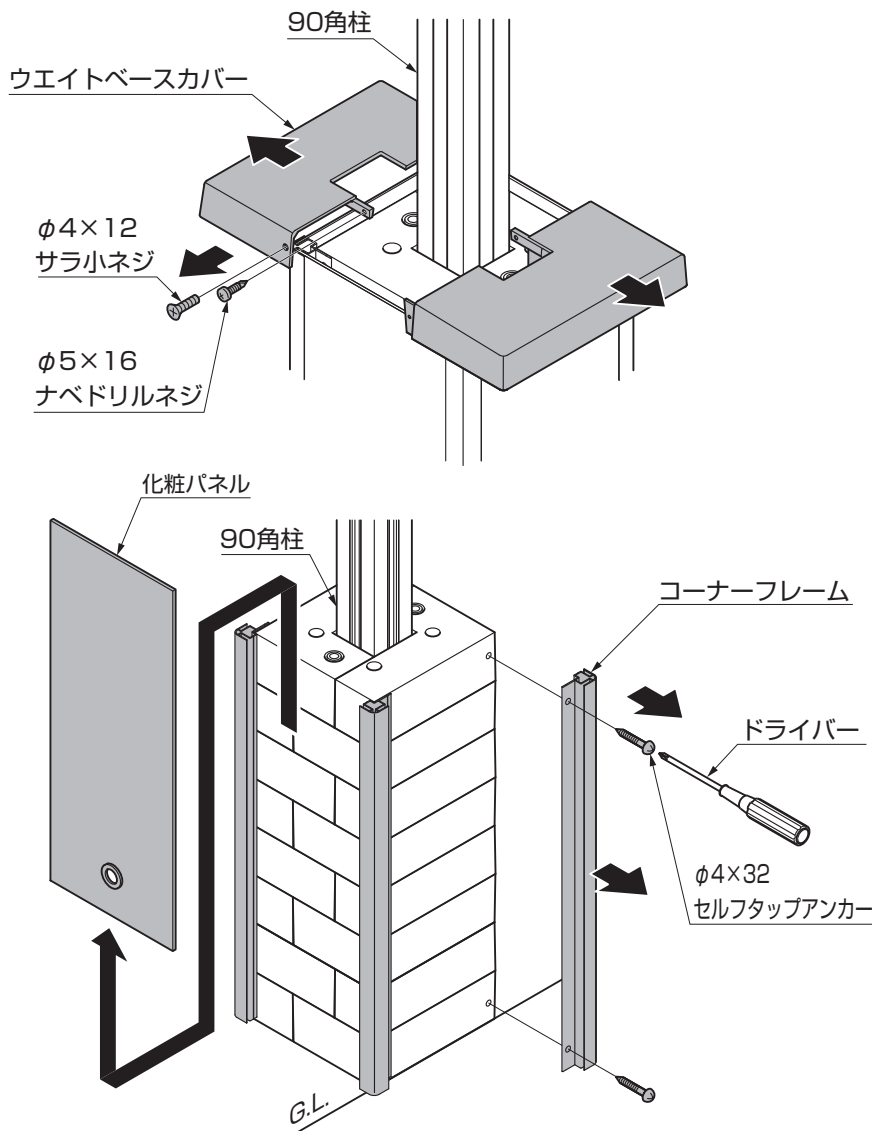
※柱-フレーム接続金具を使用している場合のみ解体可能です。

### 1. キャンバス部分の解体



①「独立オーニング取付説明書(E449)」を参照してキャンバスを取外してください。

### 2. ウェイト部の解体



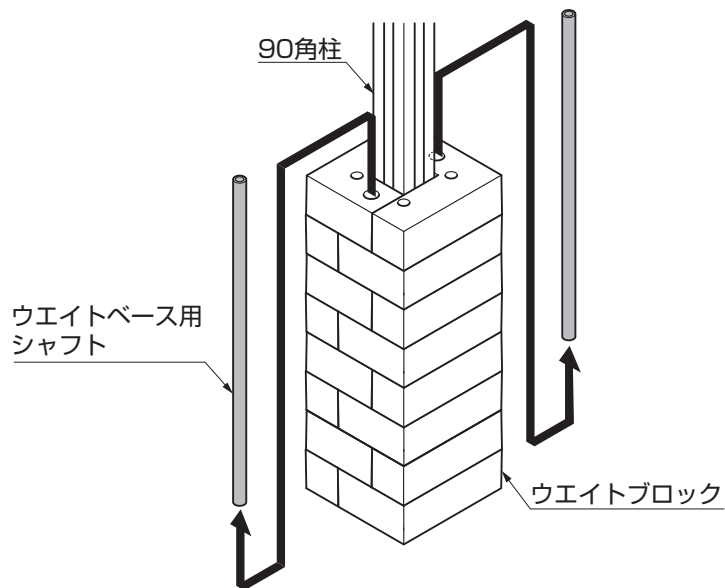
①ウェイトベースカバーから【ネジ】を取外し、ウェイトベースカバーを取外してください。

②化粧パネルを取外してください。

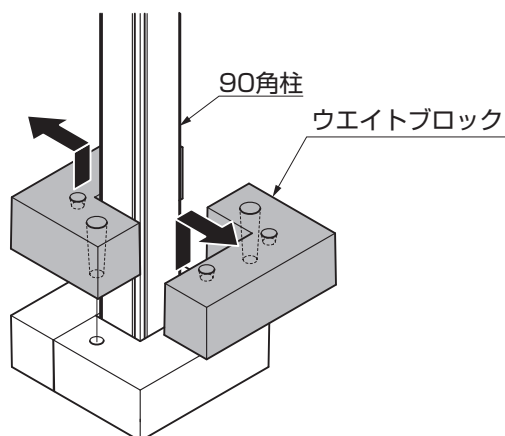
③コーナーフレームから【アンカー】を取外し、コーナーフレームを取外してください。

#### **P**ポイント

●再設置の場合は一度固定したウェイトブロックへ取付けはしないでください。



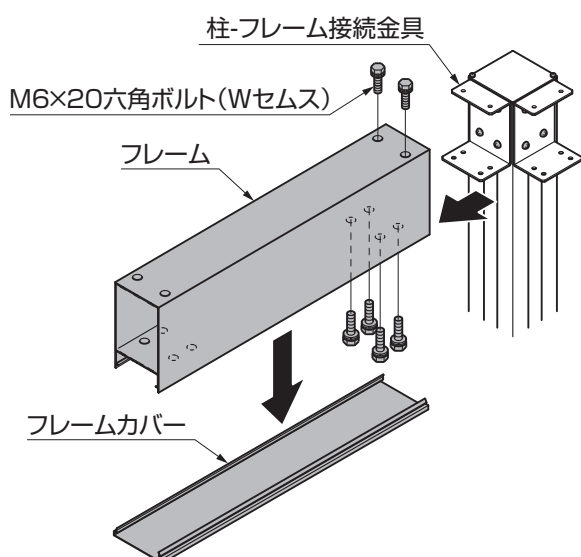
④ウエイトベース用シャフトを引き抜いてください。



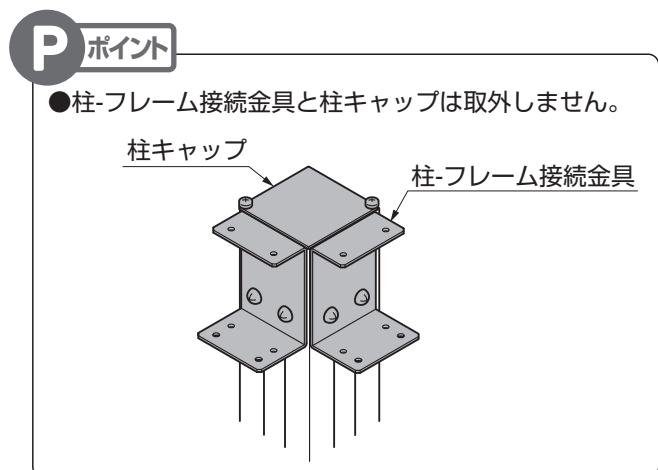
⑤ウエイトブロックを取外してください。

**P**ポイント  
●ウエイトブロックを取外す際は柱にキズをつけないように注意してください。

### 3. フレーム部の解体

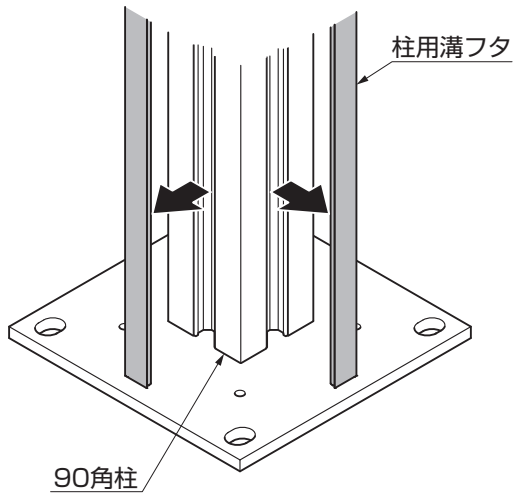


- ①フレームカバーを取外してください。
- ②【ボルト】を外し、柱からフレームを取外してください。

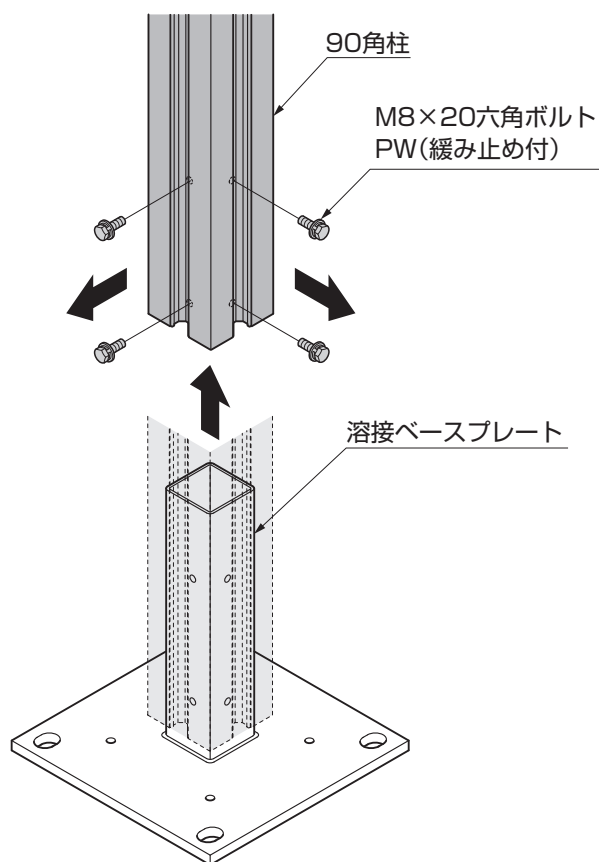


**P**ポイント  
●柱-フレーム接続金具と柱キャップは取外しません。

## 4. 柱部の解体

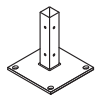









① 柱用溝フタを取外してください。




②【ボルト】を取り外し、90角柱を溶接ベースプレートから取外してください。


## 9 梱包明細表




溶接ベースプレートセット (90角柱2面溝用)		
名 称	略 図	員 数
溶接ベースプレート (90角柱2面溝用)		1
M8×20六角ボルトPW (緩み止め付)		4

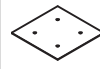







コーナーフレームセット		
名 称	略 図	員 数
コーナーフレーム		4
ウエイトベース用シャフト		2
柱用スペーサー		4
滑り止めシート		1
カバー用クッション材		4
φ4×32セルフタップアンカー		12

ウエイトベースカバーセット		
名 称	略 図	員 数
ウエイトベースカバー		2
φ5×16ナベドリルネジ		1
M4×12サラ小ネジ (D=8)		2

化粧パネルセット		
名 称	略 図	員 数
化粧パネル		4

ウエイトベース用部品セット		
名 称	略 図	員 数
グロメット		2
取付・解体説明書 (E458)	—	1
取扱説明書 (UE105)	—	1

柱-フレーム接続金具セット		
名 称	略 図	員 数
柱-フレーム接続金具		2
M6×20六角ボルト (PW+SW)		12
φ5×12トラス小ネジ (D=10)		8

施工補助部品セット		
名 称	略 図	員 数
施工補助用プレート		1
スペーサー (1mm用)		20
スペーサー (3mm用)		20
M6×35サラ小ネジ (D=12) 緩み止め付		4
M6×30サラ小ネジ (D=12) 緩み止め付		4
M6用六角ナット		4
M6用平座金		4
M6用バネ座金		8

取説コード

**E458**

JZZ634100  
201802A\_1049